

# 目 次

## 総 説

### 総説

1 県勢の概要 .....	4
2 環境問題の動向 .....	4
3 環境政策の指針 .....	5
(1) 三重県環境基本条例 .....	5
(2) 三重県環境基本計画 .....	5
4 三重県の環境政策の方向 .....	7

### トピックス

「三重県地球温暖化対策実行計画 ～低炭素社会の実現に向けて～」の策定 .....	9
---	---

### トピックス

省エネ・節電の取組 .....	10
-----------------	----

### トピックス

「四日市市大矢知・平津事案に係る実施協定書」の締結 .....	11
---------------------------------	----

### トピックス

海岸漂着物の削減に向けた取組 ～伊勢湾 森・川・海のつながりを意識して～ .....	12
---	----

### トピックス

国際森林年を記念して県内各地で記念行事を開催 .....	13
------------------------------	----

### トピックス

平成 26 年開館！環境にやさしい博物館をめざして ～地中の熱を利用する空調システム～ .....	14
--	----

## 第1章

環境への負荷が  
少ない持続可能  
な社会づくり

### 第1節 低炭素社会の構築（地球温暖化の防止）

- 1 温室効果ガスの排出削減 (p15) / 2 森林吸収源の整備 (p18) / 3 新エネルギーの導入 (p18)

### 第2節 循環型社会の構築（廃棄物対策の推進）

- 1 ごみゼロ社会の実現 (p21) / 2 産業廃棄物の3Rの推進 (p24) / 3 産業廃棄物の適正処理の確保 (p27)
- 4 監視強化と不適正処理に対する是正の推進 (p29)

### 第3節 大気環境の保全

- 1 大気汚染の防止 (p31) / 2 自動車環境対策の推進 (p35) / 3 騒音・振動・悪臭の防止 (p37)

### 第4節 水環境の保全

- 1 水質汚濁の防止 (p40) / 2 伊勢湾等（閉鎖性海域）の再生 (p41) / 3 生活排水対策の推進 (p43)
- 4 土壌・地下水汚染対策の推進 (p45)

## 第2章

自然と共生し身近な環境  
を大切に作る社会づくり

### 第1節 生物多様性の保全および持続可能な利用

三重県の自然環境の概況 (p49)

- 1 生物多様性保全活動の促進 (p51) / 2 里地里山里海の保全 (p52) / 3 希少な野生動植物の保護 (p52)
- 4 水辺や沿岸の環境保全 (p53)

### 第2節 自然とのふれあいの確保

- 1 自然公園等の整備・活用 (p56) / 2 森林・水辺等の整備・活用 (p56) / 3 緑の保全・創出 (p57)

### 第3節 森林等の公益的機能の維持確保

- 1 森林環境の保全（三重の森林づくり）(p60) / 2 農地環境の保全 (p61) / 3 沿岸海域環境の保全 (p63)
- 4 水循環・浄化機能の確保 (p64)

### 第4節 良好な景観の形成

- 1 県土の景観の形成 (p65) / 2 農山漁村景観の保全・創出 (p66)

### 第5節 歴史的・文化的環境の保全

- 1 文化財等の保存・活用 (p68) / 2 歴史的・文化的景観の保全・活用 (p69)

## 第3章

計画の実現に向けた仕組み  
づくり・基盤づくり

### 第1節 ひとを育てる ～環境学習・環境教育の推進～

- 1 学校教育における環境学習・環境教育 (p70) / 2 地域や社会における環境学習・環境教育 (p70)
- 3 環境学習・環境教育の拠点施設の活用 (p70)

### 第2節 担い手となる主体を広げる ～環境活動の促進～

- 1 指導者の育成 (p72) / 2 環境保全活動の支援 (p72) / 3 各主体の連携による環境保全活動の促進 (p72)

### 第3節 環境経営を進める

- 1 環境経営の促進 (p73) / 2 環境・エネルギー関連分野への取組促進 (p75)

### 第4節 仕組みをよりの確に運用する

- 1 環境活動が評価される仕組みの運用 (p76) / 2 環境影響評価等の実施 (p76) / 3 公害事前審査制度の活用 (p77)
- 4 環境保全協定の締結促進 (p79) / 5 公害紛争への対応 (p79)

### 第5節 技術・情報基盤をより充実する

- 1 研究開発の推進と促進 (p82) / 2 環境情報の迅速な提供 (p84) / 3 監視・観測等の体制の整備 (p84)

### 第6節 環境で貢献する

- 1 国際的な環境協力・貢献の推進 (p86) / 2 関係機関との協力 (p86) / 3 研究機関との連携 (p86)

## 第4章

今後の取組

### 第1節 環境への負荷が少ない持続可能な社会づくり

- 1 低炭素社会の構築（地球温暖化の防止）(p87) / 2 循環型社会の構築（廃棄物対策の推進）(p89)
- 3 大気環境の保全 (p91) / 4 水環境の保全 (p93)

### 第2節 自然と共生し身近な環境を大切に作る社会づくり

- 1 生物多様性の保全および持続可能な利用 (p95) / 2 自然とのふれあいの確保 (p96)
- 3 森林等の公益的機能の維持確保 (p97) / 4 良好な景観の形成 (p99) / 5 歴史的・文化的環境の保全 (p100)

### 第3節 計画の実現に向けた仕組みづくり・基盤づくり

- 1 ひとを育てる ～環境学習・環境教育の推進～ (p101) / 2 担い手となる主体を広げる ～環境活動の促進～ (p101)
- 3 環境経営を進める (p102) / 4 仕組みをよりの確に運用する (p103) / 5 技術・情報基盤をより充実する (p103)
- 6 環境で貢献する (p105)

1章1節

1章2節

1章3節

1章4節

2章1節

2章2節

2章3節

2章4節

2章5節

3章1節

3章2節

3章3節

3章4節

3章5節

3章6節

4章1節

4章2節

4章3節